

令和4年9月美馬市議会定例会議事日程（第2号）

令和4年9月14日（水）午前10時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 市政に対する代表質問

日程第 3 議案第48号 美馬市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

議案第49号 令和4年度美馬市一般会計補正予算（第6号）

議案第50号 令和4年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第51号 令和4年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第52号 令和4年度美馬市下水道事業会計補正予算（第1号）

議案第53号 令和3年度美馬市一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算認定について

議案第54号 令和3年度美馬市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和3年度美馬市公営企業会計決算認定について

議案第55号 和解について

令和4年9月美馬市議会定例会会議録（第2号）

◎ 招集年月日 令和4年9月14日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 議 午前10時00分

◎ 出席議員

1番	藤原 昌樹	2番	敷島 敏宏	3番	田中みさき
4番	立道 美孝	5番	藤野 克彦	6番	都築 正文
7番	田中 義美	8番	中川 重文	9番	林 茂
11番	郷司千亜紀	12番	井川 英秋	13番	西村 昌義
14番	久保田哲生	15番	片岡 栄一	16番	川西 仁
17番	谷 明美	18番	前田 良平		

◎ 欠席議員

10番 武田 喜善

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長職務代理者	企画総務部長	吉田 正孝
保険福祉部長		住友 礼子
市民環境部長		伊内 公一
経済部長		藤田 伸次
建設部長		河野 功
美来創生局長		篠原 孝志
水道部長		西野 佳久
消防長		根本 賢一
会計管理者		高尾 寿美
企画総務部秘書人事課長		渡邊 晴樹
企画総務部企画財政課長		佐藤 優行
代表監査委員		喜多 輝光
教育長		村岡 直美
副教育長		園木 一昌

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	藤本 卓志
議会事務局次長	大島 康作

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

3番 田中みさき 議員

4番 立道 美孝 議員

5番 藤野 克彦 議員

開議 午前10時00分

◎議長（郷司千亜紀議員）

ただいまの出席議員は17名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

なお、武田議員より欠席の届けが出されておりますので、報告をいたしておきます。

日程に入る前に、諸般の報告をいたします。

去る9月6日、本会議散会後に決算審査特別委員会が開催され、委員長に田中義美君、副委員長に谷明美君が互選をされましたので、報告をいたしておきます。

以上で諸般の報告を終わります。

これより本日の日程に入ります。

本日の議事日程はご配付の日程表のとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、3番 田中みさき君、4番 立道美孝君、5番 藤野克彦君を指名いたします。

次に、日程第2、市政に対する代表質問を行います。

通告者は、ご配付の代表質問一覧表のとおり、通告は1件であります。

美馬の未来を考える会、中川重文君。

◎8番（中川重文議員）

8番、中川。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、中川重文君。

[8番 中川重文議員 登壇]

◎8番（中川重文議員）

ただいま美馬の未来を考える会としての代表質問の許可をいただきましたので、通告の件、順次質問をさせていただくこととしますので、ご答弁の程をよろしくお願ひします。

まず、質問に入ります前に、美馬市議会においては年4回定例会が通常あり、代表質問・一般質問においては予備日も合わせて3日間の日程が組まれますが、改選後の本9月定例会は代表質問・一般質問においてはタブレットの連絡で私の代表質問のみとの連絡に少々びっくりいたしました。約12年間の議員生活で初めて1人の質問者に遭遇し、それが私に与えられたからであります。今まで考えることさえなかったことであり、これは先輩議員のおかげだと感謝している次第であります。本当にありがとうございます。

それでは、貴重な時間を与えられましたので、早速、質問に入っていきますが、私の決まり言葉であります、ご答弁される方にはいつも申し述べさせていただいていますが、市民目線に立ち、理解しやすい言葉で、明快なご答弁をよろしくお願ひいたします。

それでは、内容について具体的に順次説明をさせていただきます。通告質問件名は、最近の美馬市政に関わります3件を挙げさせていただきました。

まず、1件目は、穴吹認定こども園の運営形態を公私連携に移行することについてであります。次に、2件目として、美馬市における危機管理施策についてであります。最後

の3件目として、美馬市歴史資料館（仮称）の整備計画についてお伺いいたします。また、件名の要旨として、1件目、1に対しては5点、件名2に対しては3点、件名3に対して2点、それぞれ配付資料のように合わせて10点要旨を事前通告させていただきました。

まず、初問の説明をさせていただきます。

1件目、穴吹認定こども園の運営形態を公私連携に移行することについて、その要旨である1点目、6月定例会において穴吹認定こども園を公私連携という運営形態に変更することのご説明がありました。本市にとりましては、これまで認定こども園においては公立のみで運営していたところ、初めての民間による運営となり、美馬市にとっては大きく有意義な組織変革ではないかと考えられますので、事業の進行状況に応じて随時質問すべきと考えましたので、今回の質問とさせていただきます、まずは現段階の進捗状況をお尋ねしますので、ご答弁の程をよろしくお願いたします。

次に、2件目として、美馬市における危機管理施策について、その要旨である1点目、防災における危機管理体制について何項目かお尋ねします。

まず、今月の9月1日に徳島県総合防災訓練があり、県からの来賓案内において美馬市は10名とのことであったと聞いていますが、市全体を対象とする防災訓練で偏った案内や期日直前の案内等が重なり、結局、10人中4人の参加でした。危機管理課がこのような対応であってはならないと考えています。その時の状況、今後の対応等をお尋ねしますので、ご答弁願います。

次に、先日、各家庭に防災ガイドブック、ハザードマップが配布されましたが、配布のみでは生かされ度が低いと思われるので、美馬市として更なる活用を目指す今後の取組を明確にし、広報等で周知し、有効なツールとなるような指針を示していただきたいと思いますが、どのように考察されているのかをお尋ねしますので、ご答弁の程をよろしくお願いたします。

続いて、2件目として、美馬市における危機管理施策について、その要旨である2点目、指定管理者事業についての危機管理体制についてお尋ねします。

「道の駅みまの里が客足が伸びず、事業不振で指定管理者撤退へ」と9月3日報道されてきました。約4年前の6月にオープンしたが、赤字が続き、指定管理の契約を約2年残して一方的に撤退するように報道されていたと思います。美馬市はこのような指定管理事業者と密に情報の交換や事業の危機管理的なことはどのように対応されているのでしょうか。経緯や現状も交えてお尋ねしますので、ご答弁の程をよろしくお願いたします。

最後の3件目として、美馬市歴史資料館（仮称）の整備計画について、その要旨である1点目、約4年前に、たしか脇町図書館がミライズのほうに移動する議案だったと記憶していますが、歴史資料館の件が含まれた附帯決議付で可決されたとは思っていますが、いまだに仮称のまま資料館であったり、脇町資料館とか美馬市歴史資料館とか言っていますが、現在の進捗状況はどのようになっているのでしょうか。お尋ねしますのでご答弁の程をよろしくお願いたします。

以上で初問の説明を終えます。答弁内容にて再質問をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

◎保険福祉部長（住友礼子君）

議長、保険福祉部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、住友保険福祉部長。

[保険福祉部長 住友礼子君 登壇]

◎保険福祉部長（住友礼子君）

8番、美馬の未来を考える会、中川重文議員の代表質問のうち、私からは、穴吹認定こども園の運営形態を公私連携に移行することに関してのご質問にお答えさせていただきます。

移行に向けての進捗状況はとのご質問でございますが、先の6月定例会におきまして、関連の予算をお認めいただきましたので、順次、公私連携に向けての準備を進めているところでございます。

具体的には、6月に穴吹認定こども園のPTA役員の方と市内全体の認定こども園の保護者の方を対象とした説明会をそれぞれ開催させていただきました。

説明会では、公私連携という運営形態についてや移行を進める理由、また移行後の教育・保育についてなどのご説明をさせていただきました。保護者の方からは、移行後、入園の決定方法や保育料がどのように変わるのかとのご質問があり、それらについては現行と同様で、変更がないことにお答えさせていただくなど、多くのご質問に回答をさせていただく中で、保護者の方にはおおむねご理解いただいたものと考えております。

今後も随時、ご質問等には丁寧に対応させていただきます。

また、去る8月23日には、公私連携法人選定委員会を開催し、連携法人の募集に関して委員からのご意見をいただき、そのご意見を踏まえた募集要項を現在、策定中でございます。

今後、策定した募集要項はホームページに掲載し、連携法人の募集を行ってまいります。

◎企画総務部長（吉田正孝君）

議長、企画総務部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、吉田企画総務部長。

[企画総務部長 吉田正孝君 登壇]

◎企画総務部長（吉田正孝君）

続いて、私から、美馬市における危機管理施策についてのご質問に順次お答えいたします。

まず、去る9月1日に県立西部健康防災公園で開催されました徳島県総合防災訓練における来賓案内に関するご質問でございますが、総合防災訓練における議員の皆様方への来賓案内につきましては、主催者であります県から「新型コロナの感染を防止するため10名でお願いしたい」という連絡があり、他の行事における事例などを参考に議長、副議長及び各常任委員会の委員長のほか、会場の地元である美馬町地区の議員の皆様限定させていただきました。このことについて、議員から「市全体を対象とする防災訓練について

は、議員に幅広く参加を呼びかけるべきではないか」とのご指摘をいただきました。

今後は、行事の性格を考慮するとともに、議会とも相談いたしました上で来賓の案内をさせていただきたいと存じます。

次に、来賓である議員の皆様への案内が直前となったことにつきましてもご指摘をいただきました。

今回、案内が直前となりましたのは、「県から招待状が発出をされる」との担当者の思い込みに加え、課内における情報共有や上司による適切なチェックが行われなかったことが原因であると考えております。また、出欠の確認が直前となりましたため、来賓以外の他の議員の皆様に出席のご意向を伺うことができませんでした。議員の皆様には大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

危機管理を所管をいたします部署での情報の行き違いにつきましては、重大な結果を招く場合がございますので、市といたしまして、今回のことを重く受け止め、課内での情報共有の徹底を図るとともに、なお一層緊張感を持って業務に当たってまいります。

次に、各家庭へ配布いたしました総合防災ガイドブックやハザードマップの活用に関するご質問にお答えいたします。

本年6月に市内の各ご家庭に配布をさせていただきました総合防災ガイドブックとハザードマップにつきましては、ご自宅やその周辺などに存在する災害リスクを始め、防災情報の入手方法や備蓄物資などについて理解を深め、日頃の備えや避難行動につなげていただくことを目的として作成したものでございます。

このうちハザードマップにつきましては、各指定避難所単位で実施をしております避難所検証訓練や、市社会福祉協議会による地域支え合いマップの作成過程において、避難経路の確認などに活用しておりますが、今後は、総合防災ガイドブックを含め、自主防災組織における訓練や避難所開設・運営リーダー養成研修におきましても積極的に活用を図ってまいりたいと考えております。

今回、配布をさせていただきました総合防災ガイドブックとハザードマップにつきましては、自助や共助を促す有効なツールでございますので、できるだけ多くの皆様にご活用いただけるよう、今後とも工夫を重ねてまいります。

◎経済部長（藤田伸次君）

議長、経済部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、藤田経済部長。

[経済部長 藤田伸次君 登壇]

◎経済部長（藤田伸次君）

続きまして、私からは、道の駅みまの里指定管理者撤退の経緯はとのご質問にお答えいたします。

新聞報道でもありましたように、道の駅みまの里指定管理事業者である株式会社竹内園芸グループ企業の株式会社阿波食から、「施設運営事業における赤字が続き、新型コロナウイルスの打撃を受ける中、事業継続が困難となった」との理由により、9月1日付で指

定管理者の指定解除の申出がございました。

道の駅みまの里は、平成29年度に施設整備を行い、当時の有限会社竹内園芸を指定管理者として選定し、翌平成30年6月に営業を開始いたしました。指定管理期間は3年ごとの契約となっており、指定管理料は、令和2年度まで年間600万円でしたが、令和3年度からは460万円増額し、年間1,060万円としております。また、令和2年度から本年度にかけて、地方創生臨時交付金を活用した産直市売上回復支援事業に取り組むなど、経営支援を行ったほか、電気料金の値上げに対しても指定管理料を200万円増額する補正予算案を本定例会に提出させていただくなど、道の駅みまの里事業が軌道に乗るよう支援を行ってきたところでございます。

市といたしましては、こうした経営支援にもかかわらず、十分な事前協議のないままに撤退の意思が示されたことは誠に残念であると考えており、これまでの道の駅みまの里の運営状況や撤退理由を含めて、分析・検証を行う必要があると考えております。

◎副教育長（園木一昌君）

議長、副教育長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、園木副教育長。

[副教育長 園木一昌君 登壇]

◎副教育長（園木一昌君）

続きまして、私からは、美馬市歴史資料館（仮称）の進捗状況についてお答えいたします。

現在、名称につきましては仮称となっておりますが、美馬市歴史資料館は、平成30年2月に学識経験者や地元住民の代表者などの方々を委員として組織する整備検討委員会を立ち上げ、これまでに開催された6回の会議の中で、施設の設置、整備、運営などについて検討や協議を行っていただいております。その会議におきましては、歴史資料館は吉田家住宅の蔵の2階に設置し、活用すること。展示物については阿波藍や養蚕、うだつの町並みの歴史など、美馬市全域から集めた歴史的な価値の高い貴重な資料をテーマごとにスペースを分けて展示していくことなどが決定されました。

事務局といたしましては、決定されました事項を受けまして、昨年3月に照明施設と展示ケースを整備し、現在、具体的な展示物やその説明文の案を作成しているところでございます。

また、委員の方から、資料作成に当たり、当時の阿波藍が県内だけでなく、全国各地に出荷され、使用されていた状況や歴史について調査してはどうかのご意見がございましたことから、現在、関係する各自治体などにアンケートを依頼しているところでございます。

このようなことを踏まえまして、本年度の計画といたしましては、県内の歴史資料館や博物館を委員の皆様にご視察いただき、次回開催する整備検討委員会では、視察を終えてのご意見などをお聞きするとともに、アンケートの結果などについてご協議させていただくこととしております。

◎8番（中川重文議員）

8番、中川。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、8番、中川重文君。

[8番 中川重文議員 登壇]

◎8番（中川重文議員）

再質問をさせていただきます。

各初問のご答弁、ありがとうございました。初問で質問要旨の説明がなかった項目や初問での答弁の中において何点か項目について気付いたことを、より詳しくお聞きしたいと思しますので、再質問をさせていただきます。

まず、1件目は、穴吹認定こども園の運営形態を公私連携に移行することについての初問答弁の中で、公私連携法人選定委員会という発言があったかと思いますが、その連携法人はどのように選定するのでしょうか。具体的に分かりやすくお答え願えればと思います。更に、決定する過程において、市民の方あるいは保護者の意見や提案は反映されるのでしょうか。具体的に、これも分かりやすくお答えいただければと思っています。

次に、2件目として、美馬市における危機管理施策についてであります。2点目の指定管理者事業についての危機管理体制について、再質問をさせていただきます。

道の駅みまの里の指定管理者の撤退。報道後の管理者との協議はあったのでしょうか。更に、美馬市としては、今後どのような取組になっていくのでしょうか。分かっている範囲でよいので、今後の方向性等についてもお尋ねしますので、ご答弁の程をよろしく願いいたします。

続いて、2件目の美馬市における危機管理施策について、その要旨である3番目の市民を不安にさせないための情報発信はどの要旨で再質問させていただきます。

先程の道の駅みまの里の指定管理者の撤退も同様ですが、9月7日は「新電力撤退で四電と割高契約、美馬市電気代4,263万円補正」との記事が大きく報道されておりました。しかし、よくよく聞きますと、損失は発生しないものと認識しているとの。先程のような記事を読みますと誤解されると思いますので、改めて市民の方々に経過説明等を再度答えていただければと思います。そして、市民の方々に、不安にさせないための正確な情報の発信も市政の役目ではないでしょうか。

最後の3件目として、美馬市歴史資料館（仮称）整備計画について再問させていただきます。

この整備計画は、どこが主体的な立場で実施しようとしているのか、私にはよく分かりません。教育委員会でしょうか、それとも美馬市でしょうか。それとも市民の集まりの整備検討委員会でしょうか。また、目標がないと感じています。いつまでに整備しようとしているのか。年に1回か2回の会合を持っていると言いますが、着地点は、期限は、そのようなこと。目標が必ず必要ではないかと思っています。それが、その日に達成できなくても、次の目標を立てて、それを目指せば、私はよいと思っている。ということで、この件についても今後の方向性を再質問させていただきます。

以上で、再質問を終えます。答弁内容により再々質問をさせていただきたいと思っております。

◎保険福祉部長（住友礼子君）

議長、保険福祉部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、住友保険福祉部長。

[保険福祉部長 住友礼子君 登壇]

◎保険福祉部長（住友礼子君）

8番、美馬の未来を考える会、中川重文議員の再問のうち、私からは、穴吹認定こども園の運営形態を公私連携に移行することに関して、順次お答えをさせていただきます。

まず、連携法人の選定方法についてでございますが、選定方法はプロポーザル方式により行いたいと考えております。

穴吹認定こども園は、幼保連携型の認定こども園でございますので、法律上、運営ができるのは学校法人又は社会福祉法人とされております。これらの法人を対象に募集をさせていただき、ご応募いただいた法人によりプレゼンテーションを行っていただきまして、審査をいたします。応募法人には、穴吹認定こども園の施設見学も行っていただき、園の実態や保護者ニーズにも合致した提案をお願いしたいと考えております。

審査は、先程も申しました公私連携法人選定委員会において行われ、委員が提案内容について評価基準に基づく評価をし、最優秀提案者の選定を行います。そして、この選定結果をもって、市が連携法人を決定いたします。

次に、市民や保護者の方の参画についてでございますが、この公私連携法人選定委員会の委員として、10名中3名は保護者の方やPTAの方に委嘱をしております。これらの方々のご意見を募集要項の策定や最優秀提案者の選定に反映したいと考えております。また、公私連携に移行後も、保護者、市、連携法人で3者協議会を組織したいと考えております。定期的に会合を持ちながら、保護者の方のご意見を園の運営に反映してまいります。

◎企画総務部長（吉田正孝君）

議長、企画総務部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、吉田企画総務部長。

[企画総務部長 吉田正孝君 登壇]

◎企画総務部長（吉田正孝君）

続きまして、私から、市民を不安にさせないための正確な情報発信に関するご質問にお答えいたします。

まず、新電力会社の撤退に伴い、四国電力と割高な契約を結ぶことになった経緯でございますが、平成28年4月に電力小売の全面自由化が行われたことを受け、本市におきましても、いわゆる新電力会社の活用により、電力料金を削減できないか検討してまいりました。検討の結果、新電力会社についても、四国電力送配電株式会社の電線を使用するこ

とや、停電が発生した場合でも復旧作業において不利益を受けないことなど、電力供給に当たって安全性や安定性が担保され、電力料金の削減も期待できましたことから、令和2年度以降、一部の施設について新電力会社から電力の供給を受けることといたしました。その結果、令和2年度と令和3年度の2年間で、従来と比較し、約2,800万円のコスト削減を実現することができました。

次に、割高となったことによる市の損失についてのお尋ねでございますが、本年4月、電力供給契約を結んでおりました新電力会社である株式会社ウエスト電力から撤退の申出を受け、同社との契約を解除し、新たな供給先を検討しておりましたが、他の新電力会社や四国電力株式会社の標準契約の新規受付は既に停止されており、やむを得ず、割高な四国電力送配電の最終保障供給契約に変更したものでございます。これに伴い、新電力会社からの供給を前提として計上しておりました電力料金の年間所要額に不足が生じることが見込まれましたことから、本定例会に最終保障供給契約との差額であります4,263万4,000円を追加する補正予算案を提出させていただいております。このうち980万円余りにつきましては、四国電力の標準契約においても生じる燃料費調整額の上昇分でありまして、残る約3,280万円のうち約2,750万円につきましては四国電力の標準契約相当額との差額で、割高となったことによる実質的な影響額につきましては550万円余りとなっております。

なお、ウエスト電力からは、違約金として約480万円と和解金約850万円が得られますので、いわゆる損失につきましては発生をしないものと認識をしております。

今回の契約先の変更につきましては、ロシアによるウクライナ侵攻や円安等に伴うエネルギー調達コストの上昇という予期することが困難な事情が背景にございますが、財政状況が厳しい中、リスクについても十分考慮しつつ、今後とも電力料金の削減を検討するとともに、正確な情報発信と丁寧な説明に努めてまいります。

◎経済部長（藤田伸次君）

議長、経済部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、藤田経済部長。

[経済部長 藤田伸次君 登壇]

◎経済部長（藤田伸次君）

続いて、私からは、道の駅みまの里の今後の取組はとの再問にお答えいたします。

株式会社阿波食からの指定管理解除の申出を受け、9月9日に同社と協議を行いました。同社からは、「客足が思うように伸びず、赤字が続いていること」や「新型コロナウイルス感染症や原油高・物資高騰の収束見通しが立たない中で事業継続が難しい」との理由で、協議が整い次第、事業から撤退をしたいとの意思が改めて示されたところでございます。

市といたしましては、まずは、産直市に出品していただいている農家・生産者の皆様を始め、取引業者や産直市を日頃ご利用いただいている皆様など、関係する方々の不安を払拭することが最も重要であると考えております。

今後、株式会社阿波食と指定解除に向けた協議を進めるとともに、今後の方向性につい

て検討をしてみたいです。

◎副教育長（園木一昌君）

議長、副教育長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、副教育長。

[副教育長 園木一昌君 登壇]

◎副教育長（園木一昌君）

続きまして、私からは、美馬市歴史資料館（仮称）の今後の方向性についての再問にお答えいたします。

先程の答弁でも触れさせていただきましたが、まずは、年内に整備検討委員会を開催いただけるよう、テーマごとの展示物の説明文の案やアンケート結果、視察を終えての意見集約など、提案できる資料を整えまして、ご協議いただく予定としております。

また、課題となっております名称につきましては、整備検討委員会で十分に検討していただき、正式な名称が決定いたしましたら、議会にご報告させていただきます。

今後、教育委員会といたしましては、整備検討委員会でご協議していただいた内容を取りまとめ、できるだけ早く歴史資料館が開館できるよう努めてまいります。

◎8番（中川重文議員）

8番、中川。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、8番、中川重文君。

[8番 中川重文議員 登壇]

◎8番（中川重文議員）

再々問させていただきます。

再質問のご答弁ありがとうございました。最後の再々質問ですが、させていただきます。

まず、1件目は、穴吹認定こども園の運営形態を公私連携に移行することについての再々質問であります。

まず、質問件名の1件目で、要旨4点目の質問、会計年度任用職員の雇用はと要旨5点目の市の目指す教育・保育の質問ができていませんので、説明させていただきます。

穴吹認定こども園の運営を連携法人が行うことになると、現在そこに勤めている職員は他の四つの認定こども園に配属されることとなると思われませんが、そうなると、現在、市内の認定こども園に配属されている多くの会計年度任用職員に余剰人員が生まれてくるのではないのでしょうか。全国的にも保育士や幼稚園教諭が不足していることが問題になっていますが、本市においても資格を持ち、市内の認定こども園で長年教育・保育に携わってきた豊富な経験をお持ちの方の会計年度任用職員は、貴重な人的資源だと思います。このような方々を連携法人において、職員として雇用していただくような方向も考えられるのでしょうか。

そして、最後に、公私連携という認定こども園の運営方式を取り入れ、どのような教育・保育を目指すのかをお伺いし、質問を終わりたいと思います。

以上で、美馬の未来を考える会を代表いたしまして、令和4年9月議会の定例会での中川の代表質問を終えたいと思います。前後しますが、今回の代表質問において、真摯に向き合い、ご回答いただきましたこと、関わっていただいた方々全ての皆さんに御礼を申し上げます。

それでは、最後のご答弁よろしくお願ひ申し上げます。

◎保険福祉部長（住友礼子君）

議長、保険福祉部長。

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、住友保険福祉部長。

[保険福祉部長 住友礼子君 登壇]

◎保険福祉部長（住友礼子君）

8番、美馬の未来を考える会、中川重文議員の再々問、穴吹認定こども園の運営形態を公私連携に移行することに関して、順次お答えさせていただきます。

まず、会計年度任用職員の雇用についてでございますが、中川議員のご質問にもありましたように、保育士、幼稚園教諭の資格を有している人材は不足しているのが現状でございます。このことは、穴吹認定こども園の運営を行う連携法人にとっても同じことが言えますので、会計年度任用職員の中からの採用を考慮して人員計画は立てるものと思われまます。加えて、市の教育・保育方針や、地域を熟知している会計年度任用職員に引き続いて連携法人において教育・保育に携わっていただくことが、連携法人はもとより、市にとっても有益だと考えますので、今後、決定した連携法人と協議し、職員の雇用に関し、市もできる限り協力をしていきたいと考えております。

次に、公私連携という認定こども園の運営方式を取り入れ、市はどのような教育・保育を目指すのかとのご質問にお答えをいたします。

近年、子育てを取り巻く背景には、少子化や核家族化の進行、共働き世帯の増加等があり、就学前の児童に対する教育・保育ニーズが多様化している状況がございます。

市といたしましては、これらのニーズに対応するため、第2期美馬市子ども・子育て支援事業計画を策定し、子どもの健やかな育ちと保護者による子育てを社会全体で支える環境整備を進めているところでございます。その一環として、このたび、穴吹認定こども園の運営方式を公私連携とするものでございまして、公立の認定こども園として培ってきた教育・保育内容を継承した上で、民間ならではの創意工夫により、多様化するニーズに対応した質の高い教育・保育サービスの提供を目指してまいります。

◎議長（郷司千亜紀議員）

以上で、通告による代表質問は終わりました。これをもって代表質問を終結いたします。

次に、日程第3、議案第48号、美馬市職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてから議案第55号、和解についてまでの8件を一括し、議題といたします。

これより質疑に入ります。

ただいまのところ質疑の通告がありませんので質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第48号から議案第55号までの8件を、会議規則第37条第1項の規定により、ご配付の議案付託表のとおり、各常任委員会等に付託をいたします。

以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。

次に、休会についてお諮りいたします。明日9月15日から9月29日までの15日間は、委員会審査及び市の休日のため、休会といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（郷司千亜紀議員）

はい、異議なしと認めます。

よって、明日9月15日から9月29日までの15日間は休会とすることに決しました。

なお、20日の産業常任委員会、21日の福祉文教常任委員会、22日の総務常任委員会の各常任委員会及び26日からの決算審査特別委員会への付託案件等のご審議をよろしくお願いをいたします。

次会は、9月30日午前10時から再開し、委員長報告に引き続き、質疑・討論・採決であります。よろしくお願いをいたします。

本日はこれをもって散会といたします。

散会 午前10時44分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年9月14日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 3番

会議録署名議員 4番

会議録署名議員 5番